

ただいま議題となりました平成31年度高崎市一般会計予算、各特別会計予算、並びに関係諸議案のご審議をいただくにあたり、市政運営について、所信の一端と予算の概要についてご説明を申し上げ、議員の皆様をはじめ市民の皆様に、格別のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

政府は平成31年度の経済財政運営に当たり、引き続き「経済再生なくして財政健全化なし」を基本とし、経済の好循環をより確かなものとし、誰もが生きがいをもって充実した生活を送ることができる一億総活躍社会の実現を目指すとしております。

本市におきましても、独自の各種ビジネス活性化施策により、地元企業を中心とした本市の経済活動を活性化させ税収基盤の強化を図り、福祉や教育、子育て支援などを充実させる考え方で取り組んでいるところでございます。

【本市予算の概要】

本市の平成31年度の一般会計予算でございますが、1,681億4千万円、前年度に比べ0.4パーセントの減いたしました。

一般会計、特別会計、企業会計を合わせた予算の総額は、2,693億1,671万3千円で、前年度に比べ約4,800万円の減でございます。

予算編成にあたっての基本方針としましては、引き続き『徹底した事業費の削減』、『重点事業の積極的な推進』、『人件費の

圧縮』を3つの柱に掲げ、限られた財源をいかに効率よく、いかに効果のある事業に配分していくかという視点を重視し、選択と集中による「新しい高崎」の理念と基本政策の実現に向けた具体的な施策を展開していくことといたしました。

〔歳入予算の概要〕

それでは、歳入予算の概要について申し上げます。

財政運営の根幹をなす市税収入は、613億8,292万円、前年度と比べて3.4パーセントの増といたしました。

引き続き市内の経済状況が回復基調で推移していると思われ、市民税個人は所得や労働人口の増加を反映させ約9.8億円、前年度比4.7パーセントの増、市民税法人につきましても法人数や収益の増加が見込まれることから約5.4億円、前年度比9.1パーセントの増といたしました。

固定資産税は、家屋の新增築や企業の設備投資が増加傾向にあることから約4.8億円、前年度比2.0パーセントの増といたしました。

たばこ税につきましても、喫煙者の減少等により約1.9億円、前年度比8.5パーセントの減を見込みました。

地方消費税交付金は、消費の伸びや実績を勘案し、前年度比8.7パーセント増の75億円といたしました。

地方交付税につきましても、合併算定替の縮減および国の地方財政計画を考慮し、普通交付税は7.0パーセント減の106億円で、特別交付税は前年同額の18億円といたしました。

繰入金では、財政調整基金から39億円、減債基金から7億円を繰入れるほか、地域振興基金5.2億円、都市集客施設等建設基金20.2億円などを事業に活用することといたしました。

市債につきましては、前年度比21.9パーセント減の136億4,830万円といたしました。

〔歳出予算の概要〕

続きまして、歳出予算の概要について、新規施策や主な事業を中心に、「新しい高崎」の基本政策に沿って申し上げます。

はじめに、『**教育と人づくり**』でございます。

本市の未来を担う子どもたちを健やかに、伸びやかに、個性豊かに育てるため、学校だけでなく地域社会と一体となって、子どもたちを守り、育てる環境を整えてまいります。

また、安心して子どもを産み育てるための支援も行ってまいります。さらに、さまざまな世代が、多様な可能性に満ちた生き方が保障されるよう努めてまいります。

具体的施策でございますが、英語で生活する山村留学施設「くらぶち英語村」の指導体制を強化するため、スタッフを増員し、より充実した運営を行ってまいります。さらに、小中学校の英語教育では、学力向上を図るため引き続き外国語指導助手を全小中学校へ配置いたします。また、新たに中学2年生を対象に英語4技能テストを実施し、英語力の育成指導に活かしてまいります。

児童生徒の教育相談事業では、電話相談の時間延長を継続して実施するほか、不登校対策としてスクールソーシャルワーカーを増員するなど、支援の更なる強化を図ってまいります。

学校施設につきましては、小中学校のトイレ洋式化の予算を拡充し重点的に取り組むなど、学校環境の改善を推進してまいります。また、箕輪小学校の校舎整備を引き続き進めてまいります。

中学校の部活動支援では、指導員を増員して派遣いたします。

他にも、老朽化した八幡公民館の改築や、高崎経済大学の海外留学支援など、幅広く本市の教育環境を充実させてまいります。

次は、『**産業の振興**』でございます。

ますます激化する都市間競争に対応するためには、本市のもつ交通拠点性を最大限に活かした成長戦略が必要となります。

新しい高崎の実現に向けて、本市の企業が全国や世界を相手にした企業活動ができるように支援してまいります。

また、新しいビジネスや産業をつくりだし、さまざまな業務が集積し、雇用を生み出し、多くの人々が集まる都市づくりに取り組んでまいります。

高崎ブランド・シティプロモーションでは、好評をいただいている『絶メシリスト』『インスタゲンマー高崎』を継続するとともに、新たに本市農業にスポットを当てたプロモーションを展開してまいります。また、SNSなどを用いて広く情報発信

することにより、本市の知名度・ブランド力の更なる向上を図ってまいります。

さらに、これまで分野ごとに行ってきた海外プロモーション活動を、映画事業と関連付けながら組織横断的に実行し、効果的かつ戦略的に本市の魅力を世界に向けて発信してまいります。

農業の振興では、新品種や新商品の開発、普及宣伝活動および6次産業化、農商工連携に取り組む活動を引き続き支援してまいります。

貿易の振興では、本市に設置されたジェトロ群馬貿易情報センターと連携し、事業者や生産者の海外進出や販路開拓に向けた取り組みを引き続き支援するとともに、「高崎ものづくり海外フェア」では、高崎ブランドの世界発信を目指す、ものづくり分野の若手経営者を支援してまいります。

商工施策では、地元企業の支援策として「中小企業経営安定化助成」や、多くの方々にご利用いただいております、「まちなか商店リニューアル助成」「住環境改善助成」に引き続き必要な予算を確保し、集客力の向上や商店街の活性化、市民生活の向上につなげてまいります。

ビジネス誘致施策では、首都圏において本市の産業、文化および観光等を広く発信し、高崎ブランドの浸透を図るとともに、分譲が進んでおりますスマートインターチェンジ周辺、さらに354複合産業団地の開発と併せて、ビジネス誘致施策を引き続き積極的に展開してまいります。

次は、『文化と歴史を活かした創造的な高崎』でございます。

芸術や文化は、市民生活や産業経済活動、地域社会のあり方に大きな影響をもたらすもので、本市が持続的に発展していくためには、文化と産業が相乗的な効果を発揮する取り組みが必要でございます。本市のもつ優れた芸術・文化スポーツ活動、歴史・文化遺産を活かした創造的な高崎を目指してまいります。

文化事業では、全国レベルの大規模な若者の音楽オーディション「全国アマチュアミュージシャンフェスティバル」や、30回の節目を迎える「高崎音楽祭」および「高崎マーチングフェスティバル」の開催を支援するなど、音楽によるまちづくりを推進するための各種事業を展開してまいります。

スポーツの振興では、浜川運動公園の拡張整備を引き続き進めていくとともに、東京オリンピック事前合宿の実施に向けて、浜川競技場を改修し練習環境を整備いたします。また、本市のスポーツ振興やPRに寄与する活動を行うスポーツチームを有する企業等に対して引き続き支援を行ってまいります。さらに、高崎アリーナで開催予定の国際的な各種スポーツイベント等を支援し、市内スポーツの更なる振興を図ってまいります。

歴史を活かしたまちづくりでは、ユネスコ「世界の記憶」に登録された上野三碑こうずけさんびを活用し、地元のボランティア団体と連携した活動に引き続き取り組むとともに、新たにPR映像を制作・発信し、更なる周知啓発を図ってまいります。また、榛名神社の社殿など、国の重要文化財建造物の修復を引き続き支援

してまいります。

史跡の保存整備では、「北谷遺跡」の公有地化と、「日高遺跡」
「箕輪城跡」等の整備につきましても継続して実施してまいり
ます。このほか重要遺跡調査として、多胡碑周辺遺跡と上野国分
尼寺跡の発掘調査も実施してまいります。

次は、『やさしい眼差しに満ちた市政』でございます。

子どもやお年寄り、障害のある人、仕事をしながら子育てを
する皆さんが、安心して心豊かに暮らせる都市でなければなり
ません。経済や産業活動を発展させ、活力ある都市にしていく
と同時に、支えが必要な人や守っていくべき人たちへの「やさ
しい眼差しに満ちた市政」を進めてまいります。市民一人ひと
りが人間としての尊厳と、様々な生き方が保障される地域社会
をつくってまいります。

子育て支援対策では、新たに、子育て中や出産を控えた家庭
の不安や負担の軽減を図るため、保健師による相談や、電話1
本で原則1時間以内に家事、育児等を支援するヘルパーが駆け
付ける「子育てSOSサービス事業」を実施いたします。また、
保育士の人材不足に対応するため、人材派遣会社を通じた保育
士確保への取り組みに対し新たに支援いたします。

本年10月より実施されます幼児教育および保育の無償化へ
の対応としましては、3歳から5歳までの子どもを含め、無償
化の対象となる子どもが保育所、幼稚園および認定こども園等
を利用するために必要な予算を計上いたしました。

「待機児童ゼロ」に向けましては、希望する方々が円滑に保育所等を利用できるよう、新設を含め定員増を目的とする私立保育所等の整備や保育士確保に必要な人件費の補助、また保育需要の多い地域での施設整備に伴う用地購入費に対する支援を引き続き実施いたします。さらに、公立の箕郷第五保育園の改築を進め、保育環境の改善を図ってまいります。

また、一時預かり保育および病児・病後児保育につきましては、施設を拡充するとともに、病児保育施設が併設された医療機関が開院前に行う診察や施設整備に対して、引き続き支援してまいります。さらに、保育所、幼稚園および認定こども園における「気になる子」への支援を継続し、保育環境の更なる充実を図ります。また、放課後児童クラブにつきましても、地域の実情にあわせてクラブを増設してまいります。

障害者福祉の充実では、障害者支援ＳＯＳセンター「ばる〜ん」を引き続き運営し、障害に関するあらゆる悩み事に総合的に対応してまいります。

高齢者福祉の充実では、介護者の急用時に市内どこでもヘルパーが即時に対応し、２４時間３６５日体制で介護者の負担軽減や介護離職の防止を図る「介護ＳＯＳサービス事業」を継続して実施し、また、ひとり暮らし高齢者等の生活の不安を解消するための「あんしん見守りシステム」および高齢者や障害者が行方不明時に早期発見する救援システムの普及も、引き続き促進してまいります。さらに、高齢者人口や地域の実情に合わせて、引き続き高齢者あんしんセンターの人員体制を充実させ、

きめ細かな相談・訪問を行うとともに、新たに、認知症の症状改善を図るため、外出・交流の機会を提供する農業体験バスツアーを実施いたします。

救急医療体制の充実では、救急搬送患者のたらい回しゼロの更なる強化に向け、医療機関の受入体制の整備に対し新たな支援を行ってまいります。また、市内医療機関での24時間365日の小児救急医療体制の継続と、国立病院機構高崎総合医療センターの新病棟整備に対する支援を引き続き実施してまいります。

母子保健事業では、不妊・不育症治療に対する助成を継続するとともに、新たに、健診回数を要する多胎妊婦に対する健診費用の助成や、風しんの予防接種費用の助成対象を拡大いたします。また、小児難病対策では医療費や通院費用の一部を引き続き助成してまいります。

保健対策事業では、各種がん検診の受診率の向上およびがんの早期発見・早期治療を図るため、医療機関での個別検診の実施や内視鏡による胃がん検診の推進など引き続き実施してまいります。また、医療用ウィッグなどの購入費用に対する助成事業を新たに設け、がん治療等を受けている方の社会生活を支援いたします。

次は、『**合併した地域の個性を活かした魅力づくり**』でございませう。

合併により本市は、豊かな自然や観光資源を持つ都市になり、新しい貴重な産業を有することになりました。こうした合併地域のそれぞれの個性を大切にした地域振興策を推進してまいります。

倉渕地域では、天体の観察を通じて子どもたちの天文への関心を高めるとともに、豊かな自然の魅力を発信する「くらぶちこども天文台」を運営してまいります。

新町地域においては、老朽化した新町住民体育館の代替施設として、防災機能を兼ね備えた体育館の建設を進めてまいります。また、新町駅のバリアフリー化を促進するため、駅構内にエレベーターを整備してまいります。

榛名地域においては、好評をいただいております「榛名山ヒルクライム in 高崎」など、地域資源を活かしたイベントを開催いたします。

吉井地域においては、防災機能を備えた吉井中央公園(仮称)の整備を引き続き行ってまいります。

また、倉渕、榛名、吉井地域への定住を促進するため、住宅取得に係る利子補給を継続して実施いたします。

老朽化した道路など社会資本整備につきましては、修繕や延命化が喫緊の課題ではありますが、31年度も引き続き6支所の地域において、積極的・弾力的な対応が図れるような予算を計上いたしました。

次は、『**安心・安全な地域社会づくり**』でございます。

健全な地域社会をつくるためには、地域のことは地域で解決していく住民自治の確立が必要だと考えます。地域と住民の安心・安全を守り、皆で支え合う地域社会をつくっていくために、福祉・介護、生活環境、教育文化など幅広い分野での地域の活動を支援してまいります。

防災対策事業では、建築物の倒壊を防ぐため耐震化を促進してまいります。また、市内全域の小中学校を中心に防災情報を放送するスピーカーの整備や、地域の自主防災組織への支援につきましても引き続き実施してまいります。

交通安全対策では、道路等の破損箇所の迅速な補修や、カーブミラーなどの安全施設の整備を引き続き実施してまいります。また、小学校周辺における児童や歩行者の安全を守るためのグリーンベルトの設置、および車両の速度を抑えるための路面段差の設置も引き続き実施してまいります。

高浜クリーンセンターの建替えにつきましては、土木建築設計およびプラント設備工事を進めてまいります。

また、新たなごみ減量対策として、市内の高い製造技術と生活の知恵が融合した、生ごみの水切りグッズの製品化を支援してまいります。

里山再生・有害鳥獣対策では、ぐんま緑の県民基金を有効に活用し、安全な里山環境等を整備してまいります。また、住宅等敷地内の有害鳥獣対策として、新たに捕獲業務を実施いたし

ます。

次は、『**大勢の人が歩き、賑わう街**』でございます。

高崎のまちなかの都市基盤は整備されてきましたが、高崎の街の人出をもっと増やしていく必要があると考えております。街にいつも多くの人が歩き、賑わいがあり、元気いっぱいの街になるような仕組みをつくってまいります。

中心市街地の活性化と観光施策の拡充では、中心市街地を無料で自由に乗り降りできる「お店ぐるりんタクシー」を新たに整備し、更なる回遊性の向上を図るとともに、「高崎まつり」の熱中症対策の強化や、好評をいただいている「高崎だるま市」の開催など、引き続きまちなかの活性化を図ってまいります。

また、高崎オーパ内の「高崎じまん」などでの高崎産の農産物や食、物産の販売を引き続き支援してまいります。さらに、首都圏等で「高崎スイーツフェア」の開催など、「高崎の食」を全国に発信するための各種施策を継続実施し、「高崎ブランド」を全国に発信してまいります。

また、JR信越本線北高崎駅と群馬八幡駅間の新駅設置に向けた基本計画の策定および駅前広場の計画調査に着手いたします。

高崎駅周辺では、本市への質の高いホテル招致に向けて、より具体的な招致戦略について調査を実施してまいります。また、高崎芸術劇場に接続するペDESTリアンデッキを引き続き整備し、中心市街地の回遊性の向上を図ります。さらに、駅周辺における市街地再開発事業を引き続き推進してまいります。

都市集客施設整備関連事業では、本年9月のオープンに向け高崎芸術劇場の建設工事を進めていくとともに、高崎アリーナと合わせた両施設での文化事業や国際大会の企画・誘致活動を引き続き実施いたします。

空き家対策では、老朽化した空き家の解体費用やお年寄りが気軽に集まるサロン、また子育てママたちが気軽に情報交換するサロンなどとして活用する場合の改修費への助成などを引き続き行ってまいります。

以上が一般会計の概要でございます。

【特別会計の概要】

次は、特別会計でございます。「国民健康保険事業特別会計」では被保険者数の状況に応じた保険給付費を計上し、「介護保険特別会計」では介護サービス等の利用増加に対応した保険給付費を拡充して計上しております。

そのほかの特別会計につきましては、事業の円滑な運営が行えるよう、それぞれ所要の経費を措置してございます。

次に、上下水道事業でございます。公営企業として健全な財政運営を行い、安定した経営基盤の確立を目指してまいります。

水道事業につきましては、水需要の低迷による厳しい事業運営が続いておりますが、「良質な水道水の安定供給」のため、老朽管の耐震化や浄水施設の計画的な設備更新などを実施し、災

害に強いライフラインの構築を進めてまいります。

下水道事業につきましては、「安全で快適な生活環境の確保」のため、引き続き各地域における汚水・雨水の管渠整備を実施するとともに、既設管渠及び各汚水処理施設の適切な管理に努めてまいります。

【結 び】

以上、市政運営についての所信の一端と予算の大要についてご説明申し上げましたが、私は、高崎市が都市として、さらに成長し、発展していくことを願い、財政規律を堅持し、大胆でスピード感ある力強い市政運営に、積極的かつ全力で取り組んで行く所存でございます。

なお、予算の細部につきましては、財務部長から、その他の議案につきましては担当部長からそれぞれ説明させますので、よろしくご審議のうえ、ご賛同賜りますようお願い申し上げます。提案説明とさせていただきます。

